

## 環境教育とは

つながり(関係性)教育  
 人と人、人と自然との関係を改善する過程  
 学習者と他者、自己とを結ぶ営み  
 つながりを意識させる営み

⇒新たな関係(ビジョン)の構築(想像と創造)  
 ⇒持続可能な社会の実現

## 環境教育から持続可能な開発のための教育へ

	従来の環境教育	持続可能な開発のための教育
対象	個人の態度の寛容 認識 知識 理解 技能	社会経済構造とライフスタイルの転換 倫理観 未来志向型 参加 批判的振り返り 行動する力
方法	トップダウン	ボトムアップ
	結果重視	プロセス重視
手法	量的価値	質的価値
	教え込み	学び
	管理	育成

IUCN(2000)をもとに河部が加工

## ESDのエッセンス



ESDの価値観  
 人間の尊厳、共生など  
 ESDの学習方法  
 参加型学習、合意形成など  
 ESDの「育みたい力」  
 多面的な見方、コミュニケーション力など

日本にESDの導入

## ESDの4つの側面

- ①基礎教育の促進と改善
- ②既存の教育制度の改革  
 社会的・経済的および環境上の  
 持続可能性の学際的な理解促進
- ③持続可能性に関する人々の認識および  
 理解の促進  
 地域的・国家的・地球的なビジョンを  
 発展させていくことが必要
- ④訓練

## 日本におけるESDの課題

1. 持続可能な生産・消費スタイルへの転換
2. 持続可能な地域社会のビジョンを描く
3. 持続可能な地域社会の視点から個々の活動や取組を総合化する。
4. 環境教育と他の教育課題の緊密な連携
5. 社会参画をめざすアクションリサーチの推進によるエンパワメント
6. 地域と世界をつなぐ
7. 推進体制の構築
8. その他

## 基本方針策定へのコメント

- 日本の環境教育の現状(「平成11年度環境教育の総合的推進に関する調査」(平成12年)で網羅)を踏襲。課題と成功例。
- 広義の環境教育が対象。(平成11年中環審答申)
- 人材養成は地域のコーディネーター養成を。
- 教員や行政職員、社員等の再研修実施。
- 縦割り行政の枠を越えた拠点の整備。(既存施設のネットワーク化、相互乗り入れ。民間主導。教材開発・評価・研修等の実施。)
- 市民・行政・企業等、ステークホルダーによる恒常的推進組織。

環境教育の推進に関する調査報告書  
 環境教育の推進に関する調査報告書(書目下欄等)  
 環境教育の推進に関する調査報告書  
 環境教育の推進に関する調査報告書  
 環境教育の推進に関する調査報告書  
 環境教育の推進に関する調査報告書  
 環境教育の推進に関する調査報告書  
 環境教育の推進に関する調査報告書

項目	内容
1	環境教育の推進に関する調査報告書
2	環境教育の推進に関する調査報告書
3	環境教育の推進に関する調査報告書
4	環境教育の推進に関する調査報告書
5	環境教育の推進に関する調査報告書
6	環境教育の推進に関する調査報告書
7	環境教育の推進に関する調査報告書
8	環境教育の推進に関する調査報告書